

授業科目の区分等：専門教育科目 会計・ビジネスコース

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	2	選択
担当教員			
青山 訓与			
G (現代ビジネス学科)	S (専門科目)	AC (会計)	102 (基礎・入門科目)

授業のねらい (概要)	購買活動や販売活動など、企業外部との取引を帳簿に記録・計算・整理する基礎的な方法を修得し、中小企業や個人商店の経理事務に役立つ知識や技術の習得を目指す。
授業計画	<p>第1回 【遠隔】オリエンテーション、簿記の意義と基礎 予習 (時間) : テキストp16までを読み、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第2回 【遠隔】資産・負債・純資産と貸借対照表 予習 (時間) : テキストp17-23を読み、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第3回 【遠隔】収益・費用と損益計算書 予習 (時間) : テキストp23-28を読み、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第4回 【遠隔】簿記の仕組み 予習 (時間) : テキストp28-42を読み、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第5回 【遠隔】現金取引 予習 (時間) : テキストp48-54を読み、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第6回 【遠隔】当座預金取引 (当座預金勘定・当座借越勘定・当座勘定) 予習 (時間) : テキストp55-58を読み、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第7回 【遠隔】当座預金取引 (当座預金出納帳・その他銀行預金取引) 予習 (時間) : テキストp59-60を読み、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第8回 【遠隔】小口現金取引 予習 (時間) : テキストp61-64を読み、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第9回 【課題】現金取引から小口現金取引までの復習 予習 (時間) : テキストp64までを読み、理解不足の点を確認する。(120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第10回 【課題】現金取引から小口現金取引までの復習 予習 (時間) : テキストp64までを読み、理解不足の点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第11回 商品売買取引 予習 (時間) : テキストp65-76を読み、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第12回 商品売買取引の演習 予習 (時間) : テキストp65-76を読み、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第13回 掛け取引 予習 (時間) : テキストp77-81を読み、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第14回 掛け取引の演習 予習 (時間) : テキストp77-81を読み、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第15回 手形取引 (約束手形・手形の記帳) 予習 (時間) : テキストp82-84を読み、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : これまでの範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第16回 手形取引 (約束手形・手形の記帳) の演習 予習 (時間) : テキストp82-84を読み、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第17回 手形取引 (手形の裏書・割引) 予習 (時間) : テキストp85-90を読み、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第18回 手形取引 (手形の裏書・割引) の演習 予習 (時間) : テキストp85-90を読み、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第19回 有価証券取引 予習 (時間) : テキストp91-94を読み、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。(120)</p> <p>第20回 有価証券取引の演習 予習 (時間) : テキストp91-94を読み、疑問点を抽出する。(120)</p>

第21回	<p>復習（時間）：今回の範囲の問題を解いて復習する。（120）          固定資産取引          予習（時間）：テキストp95-97を読み、疑問点を抽出する。（120）          復習（時間）：今回の範囲の問題を解いて復習する。（120）</p>
第22回	<p>固定資産取引の演習          予習（時間）：テキストp95-97を読み、疑問点を抽出する。（120）          復習（時間）：これまでの範囲の問題を解いて復習する。（120）</p>
第23回	<p>その他の債権・債務取引（手形貸付金・手形借入金／未収金・未払金／前払金・前受金）          予習（時間）：テキストp98-102を読み、疑問点を抽出する。（120）          復習（時間）：今回の範囲の問題を解いて復習する。（120）</p>
第24回	<p>その他債権・債務取引（立替金・預り金／仮払金・仮受金／商品券・他店商品券）          予習（時間）：テキストp102-109を読み、疑問点を抽出する。（120）          復習（時間）：今回の範囲の問題を解いて復習する。（120）</p>
第25回	<p>【課題】商品売買取引からその他債権・債務取引までの復習          予習（時間）：テキストp109までを読み、理解不足の点を抽出する。（120）          復習（時間）：今回の範囲の問題を解いて復習する。（120）</p>
第26回	<p>【課題】商品売買取引からその他債権・債務取引までの復習          予習（時間）：テキストp109までを読み、理解不足の点を抽出する。（120）          復習（時間）：今回の範囲の問題を解いて復習する。（120）</p>
第27回	<p>資本取引          予習（時間）：テキストp110-113を読み、疑問点を抽出する。（120）          復習（時間）：今回の範囲の問題を解いて復習する。（120）</p>
第28回	<p>税金の処理          予習（時間）：テキストp114-116を読み、疑問点を抽出する。（120）          復習（時間）：今回の範囲の問題を解いて復習する。（120）</p>
第29回	<p>【課題】訂正仕訳と学修した範囲の問題演習          予習（時間）：これまでの学習で理解不足の点を確認する。（120）          復習（時間）：不得意な点をテキストで復習し、授業で行った問題を再度行う。（120）</p>
第30回	<p>【課題】学修した範囲の問題演習          予習（時間）：これまでの学習で理解不足の点を確認する。（120）          復習（時間）：不得意な点をテキストで復習し、授業で行った問題を再度行う。（120）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	<p>この授業では、DPに記載のある以下の能力向上を目指す。          1. 現代の社会情勢を理解しており、諸課題について主体的に考える姿勢を身に付けている。          3. 組織において協働できる能力を身に付けている。</p>
到達目標	<p>個人商店などの経営活動を理解し、簿記上の取引を、正確に記録・計算・整理するための基礎知識や技術を習得する。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	<p>提出課題は、修正点・注意点を赤字で記入の上、返却する。          小テストは、注意点など授業内で解説する。</p>
履修上の注意	<p>①簿記演習Ⅱとセットで受講することが望ましい。          ②簿記検定（日商簿記3級、全経簿記2級3級）の受検を推奨しますが、詳細については、講義の初めに説明する。          ③電卓（12桁）を必ず持参すること。          ④無断欠席、授業中の私語・飲食厳禁。          ⑤遅刻は基本的には欠席とする。</p>
成績評価の方法・基準	<p>①定期試験60% ②授業内の課題20% ③学修意欲20%</p>
教科書	<p>日商簿記ゼミ3級教本 ISBN番号：978-4-407-34448-6 著者名：蛭川幹夫 出版社：実教出版 価格：1500（税別）          日商簿記ゼミ3級問題演習 ISBN番号：978-4-407-34770-8 著者名：蛭川幹夫 出版社：実教出版 価格：1400（税別）          必要に応じて適宜プリントを配布する。</p>
参考書・教材	
備考	<p>①2020年度は9、10、25、26、29、30回を課題研究として学修する。          ②「成績評価の方法・基準」欄の「定期試験」は、本学の感染状況への対応を踏まえて「課題提出」で代替することがある。その場合、実施方法の詳細はMellyで告知する。</p>
教員との連絡方法	Melly